

2023 年度 授業計画(シラバス)

| | | | | | | |
|---|-------------------------------|--|--|------|---|-----------------|
| 学 科 | 作業療法士学科 | | 科目区分 | 専門分野 | 授業の方法 | 講義演習 |
| 科目名 | 作業療法技術論 | | 必修/選択の別 | 必修 | 授業時数(単位数) | 30 (1) 時間(単位) |
| 対象学年 | 2年 | | 学期及び曜時限 | 後期 | 教室名 | 機能訓練室、レク室、403号室 |
| 担当教員 | オムニバス(本家 寛文、石橋 康信、田中 将士、杉田 稜) | 実務経験と その関連資格 | 作業療法士として身体障害者領域・精神障害領域・老年期障害領域で勤務し、作業療法評価・治療を経験してきた。 | | | |
| 《授業科目における学習内容》 | | | | | | |
| 2年次の最後から3年次にかけて行われる臨床実習では、それまでに学習した専門基礎科目・専門科目の内容を踏まえた知識・技術の統合が実践的な場で図られる。また、専門職業人の適性・態度と一社会人としての基礎力(リテラシーとコンピテンシー)が問われることとなる。本科目ではこれらの臨床能力を高めるため、形成評価としてOSCE(客観的臨床能力試験)を利用しつつ、知識・技術・態度の向上と統合の助けを行っていく。 | | | | | | |
| 《成績評価の方法と基準》 | | | | | | |
| modified OSCE(modified Objective Structured Clinical Examination ;修正客観的臨床能力試験)100%で評定する。 | | | | | | |
| 《使用教材(教科書)及び参考図書》 | | | | | | |
| <p>■教科書: 配布資料、PT・OTのための臨床技能とOSCE コミュニケーションと介助・検査測定編 [第2版補訂版] (金原出版)</p> <p>■参考書: 作業療法評価学・作業療法評価学実習 I・II で利用した教科書や配布資料</p> | | | | | | |
| 《授業外における学習方法》 | | | | | | |
| <p>基本的に次の通り。</p> <p>【事前学習】課題内容を確認し、医学的情報の確認、関連するOT評価方法に係る知識・技術の確認などを進める。</p> <p>【事後学習】資料整理と復習。教員からのフィードバック内容や学生同士での協議内容を要点整理し、記録を行う。</p> | | | | | | |
| 《履修に当たっての留意点》 | | | | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業時間は限られているため、事前に自分の力で主体的な学習と演習に努め、授業では練習として積極的な実習を行っていくこと。 ・ 服装や身だしなみに関しては臨床実習に準ずるため、KC忘れの場合は、授業の聴講はできるが実技には参加できない。 | | | | | | |
| 授業の方法 | 内 容 | | | 使用教材 | 授業以外での準備学習の具体的な内容 | |
| 第1回 | 講義実習形式 授業を通じての到達目標 | ①OSCE課題「バイタルサインのチェック、療法士面接」について説明・実施できる。 | | 配布資料 | 【事前学習】シラバス内容を確認しておく。(20分) 【事後学習】資料整理と復習。要点整理。(40分) | |
| | 各コマにおける授業予定 | オリエンテーション、OSCE概要、バイタルサインのチェック、面接 目的・方法や留意事項を再確認し、OSCE課題の到達度評価(採点基準)を確認する。 | | | | |
| 第2回 | 講義実習形式 授業を通じての到達目標 | ②OSCE課題「形態計測、関節可動域測定」について説明・実施できる。 | | 配布資料 | 【事前学習】課題内容の確認。(30分) 【事後学習】資料整理と復習。要点整理。(30分) | |
| | 各コマにおける授業予定 | 形態計測、関節可動域測定 目的・方法や留意事項を再確認し、OSCE課題の到達度評価(採点基準)を確認する。 | | | | |
| 第3回 | 講義実習形式 授業を通じての到達目標 | ③OSCE課題「筋の触診、反射検査」について説明・実施できる。 | | 配布資料 | 【事前学習】課題内容の確認。(30分) 【事後学習】資料整理と復習。要点整理。(30分) | |
| | 各コマにおける授業予定 | 筋の触診、反射検査 目的・方法や留意事項を再確認し、OSCE課題の到達度評価(採点基準)を確認する。 | | | | |
| 第4回 | 講義実習形式 授業を通じての到達目標 | ④OSCE課題「筋力検査、整形外科的検査」について説明・実施できる。 | | 配布資料 | 【事前学習】課題内容の確認。(30分) 【事後学習】資料整理と復習。要点整理。(30分) | |
| | 各コマにおける授業予定 | 筋力検査、整形外科的検査 目的・方法や留意事項を再確認し、OSCE課題の到達度評価(採点基準)を確認する。 | | | | |
| 第5回 | 演習形式 授業を通じての到達目標 | ⑤OSCE課題「感覚検査、脳神経検査」について説明・実施できる。 | | 配布資料 | 【事前学習】課題内容の確認。(30分) 【事後学習】資料整理と復習。要点整理。(30分) | |
| | 各コマにおける授業予定 | 感覚検査、脳神経検査 目的・方法や留意事項を再確認し、OSCE課題の到達度評価(採点基準)を確認する。 | | | | |

| 授業の方法 | | 内容 | 使用教材 | 授業以外での準備学習の具体的な内容 |
|-------|-----------------------|---|------|---|
| 第6回 | 講義実習形式 授業を通じての到達目標 | ⑥OSCE課題「CVA運動機能評価、協調性検査」について説明・実施できる。 | 配布資料 | 【事前学習】課題内容の確認。(30分) 【事後学習】資料整理と復習。要点整理。(30分) |
| | 各コマにおける授業予定 | CVA運動機能評価、協調性検査 目的・方法や留意事項を再確認し、OSCE課題の到達度評価(採点基準)を確認する。 | | |
| 第7回 | 講義実習形式 授業を通じての到達目標 | ⑦OSCE課題「バランス評価、高次脳機能障害の推測」について説明・実施できる。 | 配布資料 | 【事前学習】課題内容の確認。(30分) 【事後学習】資料整理と復習。要点整理。(30分) |
| | 各コマにおける授業予定 | バランス評価、高次脳機能障害の推測 目的・方法や留意事項を再確認し、OSCE課題の到達度評価(採点基準)を確認する。 | | |
| 第8回 | 演習実習形式 授業を通じての到達目標 | ⑧(知識・技術・態度の側面で)適切に①-⑦の評価を実施できる。 | 配布資料 | 【事前学習】課題内容の確認。(10分) 【事後学習】スムーズな課題遂行のための練習を行う。(50分) |
| | 各コマにおける授業予定 | 演習・実習 全OSCE課題の練習として、各グループで演習・実習を行う。必要に応じて、各グループや全体でフィードバック・指導を受け理解を深める。 | | |
| 第9回 | 演習実習形式 授業を通じての到達目標 | ⑧(知識・技術・態度の側面で)適切に①-⑦の評価を実施できる。 | 配布資料 | 【事前学習】課題内容の確認。(10分) 【事後学習】スムーズな課題遂行のための練習を行う。(50分) |
| | 各コマにおける授業予定 | 演習・実習 全OSCE課題の練習として、各グループで演習・実習を行う。必要に応じて、各グループや全体でフィードバック・指導を受け理解を深める。 | | |
| 第10回 | 演習実習形式 授業を通じての到達目標 | ⑧(知識・技術・態度の側面で)適切に①-⑦の評価を実施できる。 | 配布資料 | 【事前学習】課題内容の確認。(10分) 【事後学習】スムーズな課題遂行のための練習を行う。(50分) |
| | 各コマにおける授業予定 | 演習・実習 全OSCE課題の練習として、各グループで演習・実習を行う。必要に応じて、各グループや全体でフィードバック・指導を受け理解を深める。 | | |
| 第11回 | 演習実習形式 授業を通じての到達目標 | ⑧(知識・技術・態度の側面で)適切に①-⑦の評価を実施できる。 | 配布資料 | 【事前学習】課題内容の確認。(10分) 【事後学習】スムーズな課題遂行のための練習を行う。(50分) |
| | 各コマにおける授業予定 | 演習・実習 全OSCE課題の練習として、各グループで演習・実習を行う。必要に応じて、各グループや全体でフィードバック・指導を受け理解を深める。 | | |
| 第12回 | 演習実習形式 授業を通じての到達目標 | ⑧(知識・技術・態度の側面で)適切に①-⑦の評価を実施できる。 | 配布資料 | 【事前学習】課題内容の確認。(10分) 【事後学習】スムーズな課題遂行のための練習を行う。(50分) |
| | 各コマにおける授業予定 | 演習・実習 全OSCE課題の練習として、各グループで演習・実習を行う。必要に応じて、各グループや全体でフィードバック・指導を受け理解を深める。 | | |
| 第13回 | 演習実習形式 授業を通じての到達目標 | ⑧(知識・技術・態度の側面で)適切に①-⑦の評価を実施できる。 | 配布資料 | 【事前学習】課題内容の確認。(10分) 【事後学習】スムーズな課題遂行のための練習を行う。(50分) |
| | 各コマにおける授業予定 | 演習・実習 全OSCE課題の練習として、各グループで演習・実習を行う。必要に応じて、各グループや全体でフィードバック・指導を受け理解を深める。 | | |
| 第14回 | 演習実習形式 授業を通じての到達目標 | ⑧(知識・技術・態度の側面で)適切に①-⑦の評価を実施できる。 | 配布資料 | 【事前学習】課題内容の確認。(10分) 【事後学習】スムーズな課題遂行のための練習を行う。(50分) |
| | 各コマにおける授業予定 | 演習・実習 全OSCE課題の練習として、各グループで演習・実習を行う。必要に応じて、各グループや全体でフィードバック・指導を受け理解を深める。 | | |
| 第15回 | 演習実習形式 授業を通じての到達目標 | ⑧(知識・技術・態度の側面で)適切に①-⑦の評価を実施できる。 | 配布資料 | 【事前学習】課題内容の確認。(10分) 【事後学習】スムーズな課題遂行のための練習を行う。(50分) |
| | 各コマにおける授業予定 | 演習・実習 全OSCE課題の練習として、各グループで演習・実習を行う。必要に応じて、各グループや全体でフィードバック・指導を受け理解を深める。 | | |